

会議名	第3回新城地域協議会		公開
日時	平成29年6月3日(土) 午後1時00分～午後6時30分	場所	勤労青少年ホーム 軽運動場
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、柿原典子、稗井修、山田敏晴、夏目文男、加藤賢一、伊藤美代子、笹田明男、石野敏弘、牧野直美、野末史朗、藤村信芳、村田孝司、森正彦、後藤幸子、鈴木健二、石黒謙治、上田寿彦、奥平宏幸、今泉栄		
	(事務局) 自治振興課：三浦理事、西村課長、中村主査、黒田主任、戸田主任 森田主任 新城自治振興事務所：鈴木所長、川合主任		
欠席者	(委員) 村田博和、村澤光美	傍聴者	39名
配布資料	次第、地域活動交付金申請書の写し		

議題・議事・発言等（要点記録）

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (夏目文男委員、加藤賢一委員、伊藤美代子委員)</p> <p>2 説明 事務局より、審査会の流れについて説明した。</p> <p>3 公開審査 申請のあった14件の審査を行った。このうち9件の審査は以下のとおり行った。 【1団体当たりの審査時間15分】 (1) 団体からの事業説明 5分 (2) 委員からの質疑応答 7分 (3) 採点票への記入及び説明者の交代 3分 残りの5件は、申請額10万円未満の説明省略案件の審査で、以下のとおり行った。 【1団体当たりの審査時間10分】 (1) 委員からの質疑応答 7分 (2) 採点票への記入 3分 なお、説明省略案件の質疑応答については、事前に審査員からの質問事項を申請団体に送付し、事務局まで回答をするよう依頼しており、事務局が申請団体に代わって回答をした。</p> <p><主な質疑応答> ①280年続く伝統芸能を後世に残し、その文化を地域に発信する事業(新城狂言同好会) (委員) 今ある衣装は、ポリエステルで作った間に合わせのものを使用されていて、これを正絹にしたいということだが、着たときとか動くときの違いは。</p>

- (申請者) 今ある間に合わせの衣装は傘の生地のためすごく重い。また、傘の生地であるため、とても暑い。狂言を演じる時に動きにくいということもある。遠くで見る人は生地の違いは気づかないかもしれないが、近くで見る人や、狂言を演じる際の動きの鈍さなどから、本当の演技が伝わらないと思っている。やはり、本物を使って狂言が演じられるようにということで申請した。
- (委員) お披露目の機会で、本町の区民のみが対象となっているが、交付金の趣旨からも、広く市民に公開する場を検討しているか。
- (申請者) 文化協会の機関誌に写真を掲載する予定である。また、狂言を演じる際のプログラムに交付金事業で購入した衣装を使用している旨を記載したいと考えている。

②的場公民館活性化事業(的場公民館)

- (委員) 畳の部屋をフローリングにするということであるが、畳の部屋がなくなることについての不都合はないか。
- (申請者) 今回改修するのは、1階のみで、2階は畳の部屋が残るので、不都合はないと考えている。
- (委員) フローリング化の目的であるミニデイの開催頻度など詳細をお聞きしたい。
- (申請者) 現在調整中であり、開催頻度などは今後検討の上、実施する予定である。
- (委員) 見積りを見ると押入れの改修費用が入っていると思われるが、これは何か。
- (申請者) 押入れ自体は改修しないが、その横の床の間をなくしてフローリング化するものである。
- (委員) ミニデイの実施にあたり、座椅子があるなら畳の部屋で実施という方法もあると思うが。
- (申請者) 座椅子はないため、新たに購入となると、結果的に費用面の差がそんなにはないのではないかと思います。

③地域文化遺産「お祭り」の山車・お囃子屋台の修理(栄町区祭具管理委員会)

- (委員) 将来的にはからくり人形の復活を考えているか。
- (申請者) からくり人形については、伝承が途絶えているため、不可能だと思う。
- (委員) 簾の修理をするということだが、肝心の簾に関する現状等について説明がなかったため、そのあたりをお聞かせいただきたい。
- (申請者) 簾の修理については、説明終了時間がなかったため説明できなかった。簾は現状ボロボロになってしまっているので、今回新調する。
- (委員) 簾については編み直しも可能だが、検討しなかったか。
- (申請者) 検討の結果、新調した方が安かったため、新調することとなった。
- (委員) 有形文化財的な意義ということだと思うが、お祭りの資機材を交付金事業で申請する前に、文化財として保存するという一方で、市に援助を求めることなどは検討しなかったか。
- (申請者) お祭りに関することは、本来地区の力、地区の住民で行うべきだとは思っている。しかし現状として高齢化、人口減少が進んでおり、栄町区では65歳以上の高齢世帯が35%程度で、3分の1以上の比率となっており、区民の力だけでやることは難しい。このことは、将来的に栄町区以外でも問題となるはず。その際に修理計画を実行することにより、地区の地域力を高めるということに繋がると思われるため、地域活動交付金を利用することを考えた。他地区でも様々な方法があると思うが、こういったことを考えることが、地域力を高めるのに重要なことではないかと考える。
- (委員) 今回の修理は何年計画で、現在どの程度進んでいるか。
- (申請者) 平成27年度からスタートし、平成30年に完了予定で4年計画である。現在3年目となっており、来年度に完了する目途は立っている。

④高齢者を中心とした区民相互交流事業（栄町公民館運営委員会）

（委員）ボッチャは高額だが、なぜボッチャを選ばれたのか。また、利用頻度はどうか。

（申請者）ボッチャはカーリングに似ているが、ヨーロッパ生まれの障害者向けに考案された東京パラリンピックの正式種目ともなっている軽スポーツで、目標物にいかに近づけるかというゲームである。なぜボッチャを選んだかという点については、激しいスポーツではなく、誰でも参加することができるという点、それから頭も使うスポーツであり、競技性もあり、非常に面白い競技である。採用に当たり、新城市老人クラブの連合会のニュースポーツ体験会で、担当者が実際に体験し、非常に面白かったということであった。開催については、現在のところ、年間計画では3回となっているが、ボッチャの周知を積極的に図り、開催回数を増やしたいと考えている。

（委員）栄町区の生涯学習推進員はこの事業にどう関わっているか。

（申請者）公民館運営委員会が兼ねており、事業に携わっている。

（委員）男性を主眼とした囲碁、将棋、しめ縄づくりということであるが、男性を主眼とした理由は。

（申請者）ご存知のとおり、男性の各行事への参加率が悪く、お役での義務的な参加以外は中々参加が期待できない。従って、今回男性が興味を持つ、物づくり、また遊びに焦点を当て、これを地区行事または地域社会参加への呼び水として、今回はしめ縄づくりと囲碁将棋を選んだものである。

（委員）鉢花コンテストがあるが、コンテストが終わった後の鉢花はどのようにされるか。

（申請者）まちなみ情報館で展示をする予定であるが、他にも適当な場所があれば展示をしたいと考えている。

⑤公民館庇改修工事及びテント購入事業（入船公民館）

（委員）防災訓練を入船公民館でやるとのことだが、例年は小学校でやっていると思うので、場所を変えるのか。またテント購入に当たり、市の防災安全課の補助制度があると思うので、そちらで購入することは考えなかったのか。

（申請者）防災訓練については小学校でやる予定であるが、公民館の敷地でハソリを使った炊き出し訓練を実施するため、雨天の際でも対応できるようにしたいということである。また区で所有している防災テントは既にボロボロになってしまっていて、組み立てるにも時間がかかるため、交付金事業で、防災目的以外の様々な公民館活動や区の行事でも容易に使用できるワンタッチテントの購入を交付金事業で考えた。

（委員）庇部分の改修について、資源回収ができるようにとのことであるが、説明のあった庇改修後のスペースだけでは、カバーできないのではないか。また、雨の日であれば日程を変更するなどの対応をすればよいと思うが、雨の日に資源回収をしなければならないという理由は。

（申請者）大雨の時に実施するというのではなく、小雨の際に資源回収を行うか否かがいつも問題になっているため、小雨の時の対応ということで考えている。資源回収のスペース確保については、庇の前にテントを張って対応する計画である。また、公民館の中の玄関や廊下スペースなども利用する予定である。

（委員）実際に実施するのはかなり難しいとは思いますが、雨天時は古紙や段ボールが特に困ると思うので、それらを回収するスペースが確保できればと思う。

（申請者）ご意見を参考にし、実施していきたいと思う。

（委員）テントをネット通販で買われるということだが、ネット通販は品質にバラつきがあると思われる。維持管理や修理等はどのようにお考えか。

(申請者) テントについては区民に詳しい方がいるので、大事に使っていきたいと思うが、修繕については、専門の方に相談し実施したいと考えている。

(委員) テントが風で飛ばされないための重しはどうされるのか。

(申請者) 古いテントの重しがあると思うので、それで対応したいと考えている。もしそれが利用できなければ、自己負担で購入しようと思う。

⑥新桜通り緑化推進事業（新町地区まちづくり協議会）

(委員) 新桜通りとはどこからどこまでか。また、プランターの木枠の取り換えということであるが、大体何メートル間隔で設置してあるのか。

(申請者) J R 飯田線の東新町駅前から浅野写真館前のスクランブル交差点の区間までが新桜通りである。大体8メートルから10メートル間隔である。

(委員) きれいになり、大変いい事業だと思う。今回の事業ではプランター周りの木枠を取り換えるということであるが、プランター自体の交換はどうしているか。

(申請者) プランター自体は傷んだものから、随時取り換えている。

(委員) プランターの木枠は防腐剤を塗布するなどして、長持ちさせていただきたいと思う。

(申請者) これまでも3年に1度くらいで、木枠に防腐剤を塗布してきたが、ここへきて、限界を迎えたため内部でも検討した結果取り換えることとなり、交付金事業として申請させていただいた。

⑦子育て応援交流会（新城こども園保護者会）

(委員) 移動動物園実施にあたり、動物とのふれあいの中でケガがあった場合などを想定して、保険加入しなくてよいか。

(申請者) 移動動物園の委託業者が加入する保険で対応が可能である。

(委員) 去年は折り紙をやられていると思うが、今年はどうなのか。また、他地区のこども園との交流は、どこの園と予定しているか。また、移動動物園の参加者数が150名となっているが、その算定根拠は。

(申請者) 移動動物園の参加者数について、城北こども園の園児数は99名、新城こども園の園児数が51名それだけで、150名となり、また保護者や未満児を含めるともう少し人数が多くなるため、概ね150名という算定をした。また交流については、新城小学校へ入学する前に、城北こども園と新城こども園の2園の園児が仲良くできるよう、交流を考えている。なお、人形劇に関しては2園の交流はもちろん、未就園児の親子の参加も呼びかけ、新城こども園のPRを図りたいと考えている。また、折り紙については、今回は人形劇の演目が赤ずきんちゃんであるため、それと連動した内容で人形作成ということを新たに企画した。

(委員) 人形劇のむすび座については、文化会館で講演をやっているが、来場者が少ない状況である。交付金事業でこういった無料で参加できるイベントがあると更に来場者が減ってしまうのではないかと危惧している。また、園児の減少に歯止めをかけたいということであるが、今回の事業でそれが達成されるとは思えない。新城こども園の園児が少なくなった要因をどのように分析しているのか。

(申請者) 私の個人的な見解となるが、新城こども園はこども園制度がスタートする以前は新城幼稚園であった。専業主婦の家庭は幼稚園に子供を入園させ、働くお母さんの家庭では保育園に子供を入園させることが多かった。そういったことから千郷地区や東郷地区の家庭も新城幼稚園へ入園する家庭も多かったが、こども園制度がスタートし、幼稚園と保育園の分けがなくなり、新城地区のみの家庭で城北こども園か新城こども園のどちらかを選択することとなった。どちらかを選択するにあたり、城北こども園は園舎が新しく、そ

ちらを選ぶ家庭が多いことから、新城こども園の園児の減少が進んでいると考える。また新城中心部の少子化について考えると、土地が少なく家を建てるスペースがなく、空き家が多いという現状があり、一戸建ての家を建てることができず、千郷地区や東郷地区に家を建ててそちらに住むことになる。様々な現象の結果であると思うが、現在の新城こども園の園児が減少している要因であると考えている。私たちは、この問題を少しでも解決できると思い、活動している。

(委員) よく理解できる。行政の問題であると思う。そのあたりの働きかけをぜひ頑張っていたきたいと思う。

⑧本町公民館の施設整備事業(照明)(本町公民館)

(委員) LED化によりどれくらい経費節約が見込まれるか。

(申請者) 防犯灯のLED化した際の実績からの推測となるが、3分の1から4分の1程度と見込んでいる。

(委員) 修理積立金があると思うが、今回の事業で利用することはできなかったか。

(申請者) 積立金については、大掛かりな改修等で利用することを想定している。また、今回は公民館の利用率向上、市民活動の活発化を図るものでもあり、交付金事業として申請したものである。

⑨城北こども園みんなで子育てプログラム(城北こども園保護者会)

(委員) 継続して事業を実施する中で、子育ての不安や孤立化を感じる母親がどの程度いて、それが解消されているという実感はあるか。また事業の開催日が平日であると思うがこども園の行事等に支障はないか。

(申請者) アンケートは取っていないが、間接的にこども園の先生からお聞きしたり、周りから聞いた意見として、この事業に参加してよかった、不安感が軽減したという声を多く聞いている。また、平日開催の事業となるため、こども園の行事等に支障がないかという点については、先生方と十分に調整して行事を計画し実施しているため、問題ないと考えている。

(委員) 子育て講座の参加者10名というのはいくつか少ないか。

(申請者) 書類の書き方が足りなかったが、城北こども園以外の地域の保護者の参加を10名程度の出席を予定しており、城北こども園の保護者が20名程度を予定しているので、計30名程度の予定である。昨年度までの実績からの想定人数である。

(委員) シアターショーの詳しい内容を知りたい。また、このシアターショーやアロマなどは保護者会費から負担すべきとも思うが、どう考えているか。また、見積り書にらるご研究所の住所等の記載がないが。

(申請者) 見積り書については、いただいたものをそのまま付けさせていただいたため、確認が不足していた。豊橋市の曙町にある会社で、市のこども未来課からも依頼を受けている実績があり、信用できる会社である。またシアターショーについては、他のこども園でも出演実績があるが、観覧者も参加できるような講演内容で、ただ見るだけという内容のものではない。子育てにおいて不安や孤立化に悩むお母さんに楽しみながら出ていただきたいという思いから、今回の内容の企画をしたものである。

⑩夜間における防火・防犯の呼びかけ(夜回り)運動【プレゼン省略案件】

(質問) 夜回り後の子供の安全面で、送り迎えはどうされるか。

(回答) 一緒に参加する大人が子供の家まで送り届ける。

(質問) 夜回りに参加するこどもとは小学生のことか。また子供会との調整はとれているか。

(回答) 入船地区在住の小学生で4年生から6年生の予定。子供会との調整は、交付

金が決定してから調整に入る予定。

(質 問) 1回あたりどのくらいの時間で回れますか。

(回 答) 入船地区を3班に分かれて回る予定で、1班あたり30分もあれば十分に回れると考えている。

⑪「田町の清水」の有効利用（田町の清水を守る会）【プレゼン省略案件】

(質 問) 小学生など、子供たちが現地を見る機会をつくれませんか。

(回 答) 中部教育審議会等、機会を見つけて、教頭先生等にお話ししたいと思っています。

(質 問) ヤシマットとはどういうものですか。

(回 答) わき水には、砂・泥などのゴが出てきますので、それらを除去するものです。分かりやすく言えば、熱帯魚水槽のゴミを除去するようなものと思っています。

⑫自主防災活動を身近なものとして行動する人づくりの事業（的場自主防災会）

【プレゼン省略案件】

(質 問) 空き家の状況は把握されているか。

(回 答) この6月の組長会にて第1回の委員会を開催し、提案を行い、防犯パトロール、消火器のチェックなどに「空き家状況調査表」への記入する。

(質 問) 空き家の状況は具体的にどこまでチェックされるか。

(回 答) 空き家については、持ち主の名前、連絡先や空き家の状態を報告していただき、必要に応じた対応をしていくつもりである。

(質 問) 道具を携行するケースとは、どのようなものか。

(回 答) クリップボードと言ひ、書類などを収納する文具である。町内の地図、空き家調査表などをパトロール時に携行するためのものである。

⑬地域住民同士の交流やふれあいの場づくり事業【プレゼン省略案件】

(質 問) カレンダーは誰に配るのか。また、各戸に配る予定があるか。

(回 答) 計画では30枚である。中町全戸には配布できないが、会員以外に活動を輪を広げるために中町公民館作品展の来場者で「フラワーアレンジメント教室」参加者20名以外の希望の方々に配る予定である。

(質 問) 活けた花を自宅に持ち帰らず、商店街や公民館などで飾ってもらってはどうか。

(回 答) 活けた花は作品展に出展し飾る。商店の方々でもし希望があるようなら、飾っていただきたいと考えている。

(質 問) 花代は作品展で出すもののみか。毎月の花代は含まれていないか。

(回 答) 花代は作品展に出すもののみである。毎月の教室の花代、先生のお礼は自分達の会費を集め活動している。

⑭英語でリトミック（English Garden イングリッシュガーデン）【プレゼン省略案件】

(質 問) 会員以外を対象とした事業か。

(回 答) 今回の事業は会員以外を対象とし、会員は5回の教室の運営をお手伝いする。

(質 問) 募集方法を教えていただきたい。新城小学校の児童のみが対象の事業か。

(回 答) 新城地域の区長さんに募集案内を回覧でお願いしたいと考えている。新城小学校の児童のみを対象に考えている。

(質 問) 5回の教室は毎回同じ参加者となるのか。

(回 答) 5回の授業は毎回違う内容で、1回ごとに完結するものと考えているので、1回だけでも、5回全部でも参加は可能になるよう考えている。

(質 問) 新城地域自治区で申請した理由は。

(回 答) 新城地域は文化会館や図書館があり、新城の文化の中止となっている。そのような場所なので、新城地域は周りの他の市内地域に広く情報を発信し、影

響を及ぼしているような役割を担っていると思う。小学生を対象とした英語でのリトミック活動は、新城市内でまだ試みられていないことなので、まず初めに新城地域で行われるのがふさわしいことだと思い、新城地域自治区で申請したものである。

4 議事（非公開）

・地域活動交付金最終審議

事務局が集計した審査の結果を説明し、地域協議会としての最終的な審議を団体ごとに順番に行った。採点しなかった委員は協議から外れて審査を行った。

（審議の流れ）

①事業の採択及び不採択についての採決

②採択について付すべき地域協議会としての意見・条件について協議した。

14事業のうち11事業が採択基準の30点以上であったため、採択となった事業内容について条件付けはなく、協議会からのエール等の意見については、申請団体へ報告することとなった。また不採択となった団体に対する意見については、採点が低くなった項目や要因を申請団体に伝え、今後の参考としていただくこととなった。

不採択となった事業については、以下のとおりであった。

③地域文化遺産「お祭り」の山車・お囃子屋台の修理（栄町区祭具管理委員会）

⑬地域住民同士の交流やふれあいの場づくり事業（花衣の会）

⑭英語でリトミック（**English Garden** イングリッシュガーデン）

5 閉会